

漢方レッスン

熱中症・夏バテ

監修：大野 修嗣 先生（大野クリニック 院長）

熱中症・夏バテとは

▶ 熱中症の症状と分類、夏バテの時期

熱中症の主な原因は夏季の気温の上昇です。体が暑さに慣れていない梅雨の間や梅雨明けには特に熱中症に注意しましょう。特に高齢者は体感温度感覚の低下から外出時だけでなく室内でも熱中症が起こるケースもあり注意が必要です。

熱中症は重症度・症状による分類がなされています（表）。熱中症に対しては冷所での安静や体表冷却、水分やナトリウムの補給といった対処を行います。ときに集中治療が必要なことがあります。熱中症の重症度IまたはIIの、頭痛、嘔吐、倦怠感などの症状には漢方薬も適応となります。また熱中症とは気づかない時期の病態は意外と多く注意が必要です。

夏バテは暑い夏の盛りが和らいだ8月後半から9月にかけて起こりやすくなります。夏の暑さにより体調を崩し、食欲不振、疲労倦怠などの症状がみられます。

表 熱中症の重症度分類と症状

分類	症 状	症状から見た診断	重症度
I 度	めまい・失神 「立ちくらみ」という状態で、脳への血流が瞬間的に不十分になったことを示し、“熱失神”と呼ぶこともあります。 筋肉痛・筋肉の硬直 筋肉の「こむら返り」のことで、その部分の痛みを伴います。発汗に伴う塩分（ナトリウムなど）の欠乏により生じます。 手足のしびれ・気分の不快	熱ストレス（総称） 熱失神 熱けいれん	
II 度	頭痛・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感 体がぐったりする、力が入らないなどがあり、「いつもと様子が違う」程度のごく軽い意識障害を認めることがあります。	熱疲労 （熱ひはい）	
III 度	II度の症状に加え、 意識障害・けいれん・手足の運動障害 呼びかけや刺激への反応がおかしい、体にガクガクとひきつけがある（全身のけいれん）、真直ぐ走れない・歩けないなど。 高体温 体に触ると熱いという感触です。 肝機能異常、腎機能障害、血液凝固障害 これらは、医療機関での採血により判明します。	熱射病	

日本救急学会 熱中症に関する委員会・環境省熱中症保健マニュアル2014. p.14
<https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/envman/full.pdf>（参照2021-4-15）

▶ 古典での記載

夏バテは、古典では注夏病(ちゅうかびょう)などと呼ばれていました。「元気がなく身体が火照るのは、暑さにより体が傷つけられたためだ」ということが記載されています(図1)。

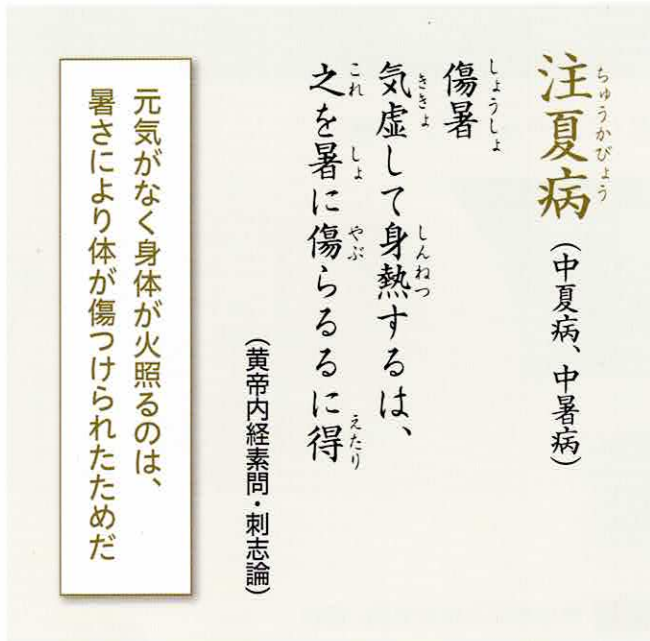


図1 漢方古典における夏バテ

よく用いられる漢方薬3処方(清暑益気湯、補中益気湯、五苓散)について紹介します。

▶ 清暑益気湯

清暑益気湯は熱中症・夏バテに対する代表的漢方薬です。暑さによる症状をしずめ、元気を増す漢方薬です。構成生薬に人参と黄耆が含まれており「参耆剤」(じんぎざい)と呼ばれる元気を増す漢方薬に分類されます。

構成生薬である、麦門冬、五味子は潤し、甘草、蒼朮、人参、陳皮は気を補い胃腸機能を高めます。当帰は血を補いめぐらせ、黄柏は熱を冷まします。黄耆は表固作用、すなわち人体の体表(皮膚および皮膚付属器)の機能を改善させます。清暑益気湯は、発熱、頭痛、口渴、発汗の病態に対応する、夏を乗り切るために知っておきたい代表的漢方薬の1つです。

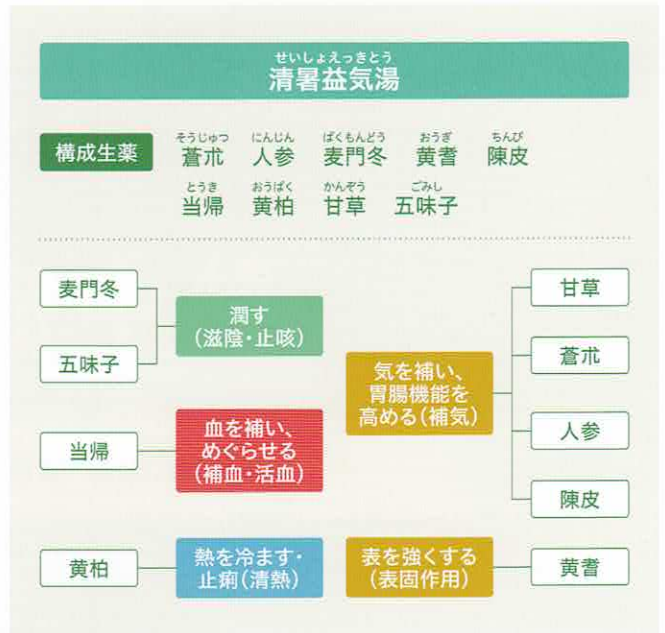


図2 清暑益気湯の構成生薬

▶ 補中益気湯

補中益気湯という処方名には、「中(ちゅう)(胃腸の働き)を補い気(元気)を益(ま)す」という意味があります。補中益気湯の構成生薬をみると、10のうち6つは清暑益気湯と同じ生薬です(図3)。いずれも「益気」の名前を持つ処方で、似た方意ともいえます。倦怠感があり食欲がわかない方に向いています。



図3 補中益気湯と清暑益気湯の構成生薬

清暑益気湯と補中益気湯の簡単な使い分けについて紹介します。補中益気湯は夏場に限らず、体力が衰えた方の倦怠感に用いられます。クーラーの効いた室内でもだる

くたぐたりしている方、疲れが取れないときには補中益気湯。高温多湿の中、汗をかきすぎて消耗して、火照るなら清暑益気湯というイメージです。

3方剤の使い分け

五苓散

五苓散は体内の水分の偏在(水毒:すいどく)を是正する利水剤(りすいざい)の代表的な漢方薬です。五苓散の構成生薬は全て水をさばく利水作用をもつ生薬からできています(図4)。口渴や尿量減少を使用目標にむくみ、下痢、悪心、嘔吐など水毒による諸症状に広く用いられます。高温環境に曝露されて口渴、頭痛、嘔気などの症状により適応となります。

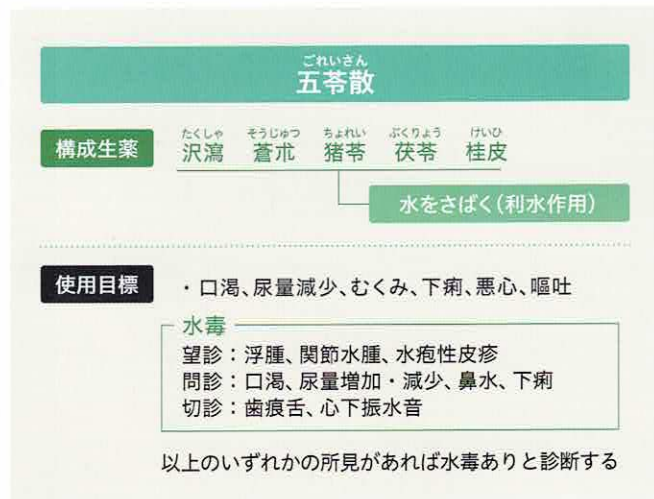


図4 五苓散の構成生薬と使用目標

時期による使い分けを紹介します(図5)。熱中症の症状が出始めた頃の下痢、悪心、嘔吐などに五苓散。熱中症で疲弊し、口渴・発汗が持続している時期の食欲不振や倦怠感などに清暑益気湯。熱感、発汗、口渴は消退したものの、熱中症による身体の疲弊が胃腸にも影響を及ぼし、夏やせ、食欲不振などの症状が出るときに補中益気湯というイメージです。

それぞれの漢方薬の特徴を知り、使い分けるようにしましょう。

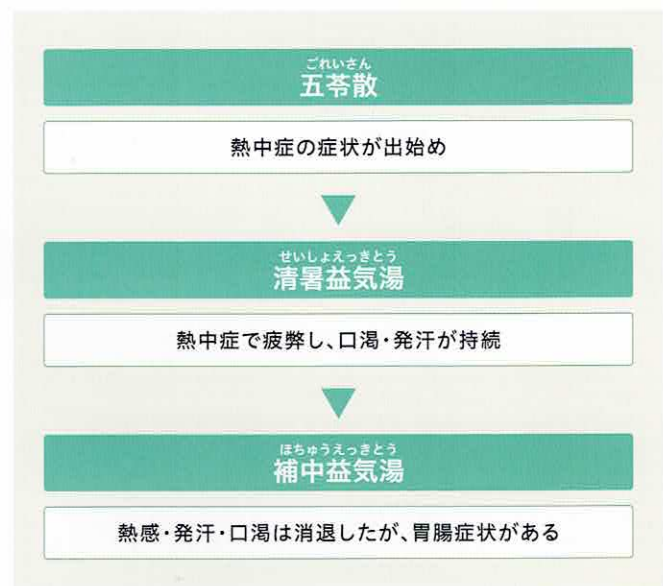


図5 時期による使い分け

TSUMURA MEDICAL SITE

<https://medical.tsumura.co.jp/>

ツムラメディカルサイトで「漢方レッスン」を動画でご覧いただけます。

動画ライブラリー



漢方を色々なアプローチで紹介

▶ 本冊子の動画はこちら

<https://medical.tsumura.co.jp/library/lesson001>

会員登録(無料)をお願いいたします

株式会社ツムラが運営するサイトあるいは協賛するサイトやアプリの医療関係者向け会員様限定のコンテンツをご利用いただくには会員登録が必要となります。会員登録がお済みでない場合は是非ご登録ください。医療関係者の方以外にご登録いただけませんので予めご了承ください。



▶ 会員登録(無料)はこちら

<https://medical.tsumura.co.jp/reg>



17 ツムラ五苓散

ゴレイサン
エキス顆粒(医療用) (薬価基準記載)

日本標準商品分類番号		875200		薬効分類名	漢方製剤	薬価基準	収載
名称	製品名	和名	ツムラ五苓散エキス顆粒(医療用)				
	一般名	和名	五苓散				
		洋名	TSUMURA Goreisan Extract Granules for Ethical Use				
		洋名	goreisan				
組成・性状							
組成	本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.0gを含有する。						
	日局タクシヤ(沢瀉)	4.0g	日局チヨレイ(猪苓)	3.0g	日局ケヒヒ(桂皮)	1.5g	
日局ソウジュツ(蒼朮)	3.0g	日局ブリョウ(茯苓)	3.0g				
添加物	日局ステアリン酸マグネシウム、日局乳糖水和物						
性状	剤形	顆粒剤	におい	特異なにおい			識別コード
	色	淡灰褐色	味	わずかに辛い			
効能又は効果							
口渴、尿量減少するもの次の諸症：浮腫、ネフローゼ、二日酔、急性胃腸カタル、下痢、悪心、嘔吐、めまい、胃内停水、頭痛、尿毒症、暑気あたり、糖尿痛							

(D.I.面2021年4月作成)

41 ツムラ補中益気湯

ホチュウエツキトウ
エキス顆粒(医療用) (薬価基準記載)

日本標準商品分類番号		875200		薬効分類名	漢方製剤	薬価基準	収載
名称	製品名	和名	ツムラ補中益気湯エキス顆粒(医療用)				
	一般名	和名	補中益気湯				
		洋名	TSUMURA Hochoekkitto Extract Granules for Ethical Use				
		洋名	hochoekkitto				
組成・性状							
組成	本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。						
	日局オウギ(黄耆)	4.0g	日局サイコ(柴胡)	2.0g	日局ショウマ(升麻)	1.0g	
日局ソウジュツ(蒼朮)	4.0g	日局ダイソウ(大蘇)	2.0g	日局ショウキョウ(生姜)	0.5g		
日局ニンジン(人參)	4.0g	日局チンピ(陳皮)	2.0g				
日局トウキ(当帰)	3.0g	日局カンソウ(甘草)	1.5g				
添加物	日局ステアリン酸マグネシウム、日局乳糖水和物						
性状	剤形	顆粒剤	におい	特異なにおい			識別コード
	色	淡褐色	味	わずかに甘い			
効能又は効果							
消化機能が衰え、四肢倦怠感著しい虚弱体質者の次の諸症：夏やせ、病後の体力増強、結核症、食欲不振、胃下垂、感冒、痔、脱肛、子宮下垂、陰萎、半身不随、多汗症							
《証に関わる情報》使用目標=証 監修・大塚恭男、花輪壽彦(北里大学)							
比較的体力の低下した人が、全身倦怠感、食欲不振などを訴える場合に用いる。							
1) 虚弱体質、結核症などの慢性疾患で上記症状を呈する場合。2) 術後、病後、産後、高齢者の虚弱(フレイル)などで衰弱している場合。3) 咳嗽、微熱、盗汗、動悸などを伴う場合。							
用法及び用量							
通常、成人1日7.5gを2~3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。							
使用上の注意							
1. 重要な基本的注意							

(D.I.面2021年4月作成)

136 ツムラ清暑益気湯

セイショエツキトウ
エキス顆粒(医療用) (薬価基準記載)

日本標準商品分類番号		875200		薬効分類名	漢方製剤	薬価基準	収載
名称	製品名	和名	ツムラ清暑益気湯エキス顆粒(医療用)				
	一般名	和名	清暑益気湯				
		洋名	TSUMURA Seishoekkitto Extract Granules for Ethical Use				
		洋名	seishoekkitto				
組成・性状							
組成	本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。						
	日局ソウジュツ(蒼朮)	3.5g	日局オウギ(黄耆)	3.0g	日局オウバク(黄柏)	1.0g	
日局ニンジン(人參)	3.5g	日局ダイソウ(大蘇)	3.0g	日局カンソウ(甘草)	1.0g		
日局ハクモンドウ(夏門冬)	3.5g	日局トウキ(当帰)	3.0g	日局ゴシシ(五味子)	1.0g		
添加物	日局ステアリン酸マグネシウム、日局乳糖水和物						
性状	剤形	顆粒剤	におい	特異なにおい			識別コード
	色	淡黄褐色	味	苦くてわずかに甘い			
効能又は効果							
暑気あたり、暑さによる食欲不振・下痢・全身倦怠、夏やせ							
《証に関わる情報》使用目標=証 監修・大塚恭男、花輪壽彦(北里大学)							
比較的体力の低下した人で、食欲不振、全身倦怠感を訴える場合に用いる。							
1) 軟便、尿量減少、自然発汗、手足の熱感などを伴う場合。2) いわゆる夏やせ、夏まけに多用される。							
用法及び用量							
通常、成人1日7.5gを2~3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。							
使用上の注意							
1. 重要な基本的注意							

(D.I.面2021年4月作成)

2021年5月制作

PBB005

162207

《証に関わる情報》使用目標=証 監修・大塚恭男、花輪壽彦(北里大学)			
口渴ならびに尿量減少を主目標として用いる。			
1) 浮腫、悪心、嘔吐、頭痛、めまいなどの症状を伴う場合。2) 心窩部に振水音を認める場合。			
用法及び用量			
通常、成人1日7.5gを2~3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。			
使用上の注意			
1. 重要な基本的注意			
(1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。(2) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。			
2. 副作用			
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。			
		頻度不明	
過敏症 ^{注1)}		発疹、発赤、痒疹等	
肝 臓		肝機能異常(AST(GOT)、ALT(GPT)、γ-GTP等の上昇)	
3. 高齢者への投与 一般に高齢者では生理機能が低下しているため減量するなど注意すること。			
4. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与 妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。			
5. 小児等への投与 小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]			
取扱い上の注意		包装	
貯法：しゃ光・気密容器 使用期限：容器、外箱に表示 ●ポトル品 500g、5kg(500g×10) ●分包品 2.5g×42包、2.5g×189包			
承認番号	承認年月	薬価基準収載年月	販売開始年月
(61AM)3287	1986年5月	1986年10月	1986年10月
製造販売会社	株式会社ツムラ 2014年10月改訂の添付文書より作成		

(1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。(2) 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。(3) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。			
2. 相互作用 (併用注意)に注意すること			
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	
(1) カンゾウ含有製剤 (2) グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパチーがあらわれやすくなる。 〔「重大な副作用」の項参照〕	グリチルリチン酸は尿管管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。	
3. 副作用			
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。			
(1) 重大な副作用			
1) 間質性肺炎：発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音の異常(捻唼音)等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部X線等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。また、発熱、咳嗽、呼吸困難等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、ただちに連絡するよう患者に対して注意を行うこと。2) 偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。3) ミオパチー：低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。4) 肝機能障害、黄疸：AST(GOT)、ALT(GPT)、ALP、γ-GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。			
(2) その他の副作用			
		頻度不明	
過敏症 ^{注1)}		発疹、蕁麻疹等	
消化器		食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等	
4. 高齢者への投与 一般に高齢者では生理機能が低下しているため減量するなど注意すること。			
5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与 妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。			
6. 小児等への投与 小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]			
7. その他の注意 湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。			
取扱い上の注意		包装	
貯法：しゃ光・気密容器 使用期限：容器、外箱に表示 ●ポトル品 500g、5kg(500g×10) ●分包品 2.5g×42包、2.5g×189包			
承認番号	承認年月	薬価基準収載年月	販売開始年月
(61AM)1164	1986年3月	1986年10月	1986年10月
製造販売会社	株式会社ツムラ 2014年10月改訂の添付文書より作成		

(1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。(2) 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。(3) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。			
2. 相互作用 (併用注意)に注意すること			
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	
(1) カンゾウ含有製剤 (2) グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパチーがあらわれやすくなる。 〔「重大な副作用」の項参照〕	グリチルリチン酸は尿管管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。	
3. 副作用			
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。			
(1) 重大な副作用			
1) 偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。2) ミオパチー：低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。			
(2) その他の副作用			
		頻度不明	
過敏症 ^{注1)}		発疹、蕁麻疹等	
消化器		食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等	
4. 高齢者への投与 一般に高齢者では生理機能が低下しているため減量するなど注意すること。			
5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与 妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。			
6. 小児等への投与 小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]			
7. その他の注意 湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。			
取扱い上の注意		包装	
貯法：しゃ光・気密容器 使用期限：容器、外箱に表示 ●ポトル品 500g、5kg(500g×10) ●分包品 2.5g×42包、2.5g×189包			
承認番号	承認年月	薬価基準収載年月	販売開始年月
(61AM)3290	1986年5月	1986年10月	1986年10月
製造販売会社	株式会社ツムラ 2013年3月改訂の添付文書より作成		

※詳細については製品添付文書をご覧ください。使用上の注意等の改訂には十分ご留意ください。

株式会社ツムラ

東京都港区赤坂2-17-11 〒107-8521 <https://www.tsumura.co.jp/>

お客様相談窓口 電話 0120-329-970

弊社の販売情報提供活動について liaison@mail.tsumura.co.jp



漢方製剤

136 ツムラ清暑益気湯

セイ ショ エツ キ トウ
エキス顆粒 (医療用) (薬価基準収載)

暑気あたり、夏やせ



〈証に関わる情報〉使用目標=証*

比較的体力の低下した人の全身倦怠感、軟便、手足の熱感などを伴う場合。

41 ツムラ補中益気湯

ホ チュウ エツ キ トウ
エキス顆粒 (医療用) (薬価基準収載)

消化機能が衰え、四肢倦怠感著しい
虚弱体質者の次の諸症:

夏やせ、 食欲不振、 感冒



〈証に関わる情報〉使用目標=証*

比較的体力の低下した人で、全身倦怠感、食欲不振、微熱、盗汗などがある場合。

43 ツムラ六君子湯

リッ クン シ トウ
エキス顆粒 (医療用) (薬価基準収載)

胃腸の弱いもので、食欲がなく、
みぞおちがつかえ、疲れやすく、
貧血性で手足が冷えやすい
ものの次の諸症:

食欲不振、消化不良、 胃炎



〈証に関わる情報〉使用目標=証*

比較的体力の低下した人で、胃腸機能が低下し、食欲不振、心窩部の膨満感などを訴える場合。

17 ツムラ五苓散

ゴ レイ サン
エキス顆粒 (医療用) (薬価基準収載)

口渇、尿量減少するものの次の諸症:

暑気あたり、下痢、 急性胃腸カタル、 嘔吐



〈証に関わる情報〉使用目標=証*

口渇、尿利減少があり、浮腫、悪心、嘔吐、頭痛、めまいなどを伴う場合。

17 ツムラ五苓散エキス顆粒(医療用)

効能又は効果

口渴、尿量減少するものの次の諸症：
浮腫、ネフローゼ、二日酔、急性胃腸カタル、下痢、悪心、嘔吐、めまい、
胃内停水、頭痛、尿毒症、暑気あたり、糖尿病

〈証に関わる情報〉 使用目標=証*

口渴ならびに尿量減少を主目標として用いる。
1) 浮腫、悪心、嘔吐、頭痛、めまいなどの症状を伴う場合。
2) 心窩部に振水音を認める場合。

使用上の注意(抜粋)

1.重要な基本的注意 (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。(2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。
2.副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

頻度不明	
過敏症 ^(*)	発疹、発赤、痒疹等
肝 臓	肝機能異常(AST(GOT)、ALT(GPT)、γ-GTP等の上昇)

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

(2014年10月改訂)

41 ツムラ補中益気湯エキス顆粒(医療用)

効能又は効果

消化機能が衰え、四肢倦怠感著しい虚弱体質者の次の諸症：
夏やせ、病後の体力増強、結核症、食欲不振、胃下垂、感冒、痔、脱肛、
子宮下垂、陰萎、半身不随、多汗症

〈証に関わる情報〉 使用目標=証*

比較的体力の低下した人が、全身倦怠感、食欲不振などを訴える場合に用いる。
1) 虚弱体質、結核症などの慢性疾患で上記症状を呈する場合。
2) 術後、病後、産後、高齢者の虚弱(フレイル)などで衰弱している場合。
3) 咳嗽、微熱、盗汗、動悸などを伴う場合。

使用上の注意(抜粋)

1.重要な基本的注意 (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。(2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。(3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

2.相互作用 併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1)カンゾウ含有製剤 (2)グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパチーがあらわれやすくなる。〔「重大な副作用」の項参照〕	グリチルリチン酸は尿管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

3.副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。(1)重大な副作用 1)間質性肺炎：発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音の異常(捻髪音)等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部X線等の検査を実施するとともに、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。また、発熱、咳嗽、呼吸困難等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、ただちに連絡するよう患者に対し注意を行うこと。2)偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。3)ミオパチー：低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。4)肝機能障害、黄疸：AST(GOT)、ALT(GPT)、Al-P、γ-GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
(2)その他の副作用

頻度不明	
過敏症 ^(*)	発疹、尋麻疹等
消 化 器	食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

(2014年10月改訂)

43 ツムラ六君子湯エキス顆粒(医療用)

効能又は効果

胃腸の弱いもので、食欲がなく、みぞおちがつかえ、疲れやすく、貧血性で手足が冷えやすいものの次の諸症：
胃炎、胃アトニー、胃下垂、消化不良、食欲不振、胃痛、嘔吐

〈証に関わる情報〉 使用目標=証*

比較的体力の低下した人が胃腸機能が低下して、食欲不振、心窩部の膨満感などを訴える場合に用いる。
1) 全身倦怠感、手足の冷えなどを伴う場合。
2) 腹壁の緊張が弱く、心窩部に振水音を認める場合。

使用上の注意(抜粋)

1.重要な基本的注意 (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。(2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。(3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

2.相互作用 併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1)カンゾウ含有製剤 (2)グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパチーがあらわれやすくなる。〔「重大な副作用」の項参照〕	グリチルリチン酸は尿管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

3.副作用 副作用発現頻度調査における発現頻度 (1)重大な副作用 1)偽アルドステロン症(頻度不明)：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。2)ミオパチー(頻度不明)：低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。3)肝機能障害、黄疸(頻度不明)：AST、ALT、Al-P、γ-GTP等の著しい上昇を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
(2)その他の副作用

0.1~5%未満		0.1%未満
過敏症 ^(*)		発疹、尋麻疹等
肝 臓	肝機能異常(AST、ALT、Al-P、γ-GTPの上昇を含む)	
消 化 器	悪心	腹部膨満感、下痢等
そ の 他	低カリウム血症、高血圧(血圧上昇を含む)、浮腫	

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

(2020年5月改訂)

136 ツムラ清暑益気湯エキス顆粒(医療用)

効能又は効果

暑気あたり、暑さによる食欲不振・下痢・全身倦怠、夏やせ

〈証に関わる情報〉 使用目標=証*

比較的体力の低下した人で、食欲不振、全身倦怠感を訴える場合に用いる。
1) 軟便、尿量減少、自然発汗、手足の熱感などを伴う場合。
2) いわゆる夏やせ、夏まじりに多用される。

使用上の注意(抜粋)

1.重要な基本的注意 (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。(2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。(3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

2.相互作用 併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1)カンゾウ含有製剤 (2)グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパチーがあらわれやすくなる。〔「重大な副作用」の項参照〕	グリチルリチン酸は尿管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

3.副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。(1)重大な副作用 1)偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。(2)ミオパチー：低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。
(2)その他の副作用

頻度不明	
過敏症 ^(*)	発疹、尋麻疹等
消 化 器	食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

(2013年3月改訂)

*使用目標=証 監修：大塚恭男、花輪壽彦(北里大学)

- 用法及び用量：通常、成人1日7.5gを2~3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
- 日本標準商品分類番号：875200 ■ 薬効分類名：漢方製剤 ■ 薬価基準収載 ■ 取扱い上の注意：(貯法)しゃ光・気密容器/(使用期限) 容器、外箱に表示 ■ 製造販売会社：株式会社ツムラ
- ・ 組成・性状、その他の使用上の注意(高齢者への投与・妊婦、産婦、授乳婦等への投与・小児等への投与、その他の注意)、包装、関連情報(承認番号、薬価基準収載年月、販売開始年月等)、及び詳細については各製品添付文書をご覧ください。使用上の注意等の改訂には十分ご注意ください。

(D.I.面2020年10月作成)

2012年6月制作 2021年5月改訂

PBC034 (審) 292211

株式会社ツムラ

東京都港区赤坂2-17-11 〒107-8521 <https://www.tsumura.co.jp/>
お客様相談窓口 電話 0120-329-970
弊社の販売情報提供活動について liaison@mail.tsumura.co.jp